

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 638

所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当者名	野中 良子
事業名	児童教職員健康管理事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	児童教職員健康管理事業			政策体系	122
会計	一般会計	科目	10.教育 - 2.小学 - 1.小学		

1. 事業の概要

市内17小学校が対象。
 学校医による診察（内科・歯科・眼科・耳鼻科）
 健診機関による検査（尿検査・寄生虫検査）
 必要があれば二次健診も実施
 学校内で行う検査（身体測定・視力検査・聴力検査）

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

児童、教職員の健康保持及び増進

②事業を実施する必要性

学校保健法に基づくものであり学校の設置者が行うべき義務がある。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	25,790	24,518	24,495	24,006	25,611	25,630	25,630
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	43	34	268	263	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	25,790	24,475	24,461	23,738	25,348	25,630
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.25	0.25			
人件費	千円	—	—	1,430	1,101			
事業費総額	千円	—	—	25,925	25,107			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

学校内科医、歯科医、眼科医、耳鼻科医、薬剤師報酬 21,120,960円
 各種健診委託料 2,567,991円（児童分1,792,986円、教職員分775,005円）
 環境衛生調査・フッ化物洗口用物品購入 316,730円

5. 事業結果の概要

児童及び教職員の健康保持・増進に寄与した。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 児童		
学校医による内科、歯科、眼科、耳鼻科の診察。検診機関による心電図検査、尿検査、寄生虫卵検査（2次検査） 駅伝前検診	4月～6月 10月	小学生児童の健康保持及び増進
(2) 教職員		
胸部レントゲン 定期健康診断	4月 11月	教職員の健康保持及び増進
(3) 学校環境検査		
学校薬剤師による学校水道水、プール水水質検査、空気検査等	6月、7月他	学校環境衛生の維持及び改善

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

教職員結核健診（胸部レントゲン）については受診率を高める必要がある。定期健康診断についても受診率が上がるよう努める。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
教職員結核健診（胸部レントゲン）についてはできる限り全員に受けしてもらえるようにすることが、必要である。定期健康診断についても受診率が上がるよう努める。

③反省点、今後の展開・方向性等
学校の設置者が行うべき義務がある事業であり、必要である。学校医の報酬で特に、眼科医、耳鼻科医は1回だけの健診であるため協議の上、予算上考える必要がある。